

(問い合わせ先)
令和4年7月27日
広島県農林水産局
担当者 吉川
内線 3603
電話 082-513-3604

県内で飼養される豚等への豚熱ワクチンの接種終了について

県内養豚農場等で飼養される豚などに対する豚熱のワクチン接種（初回一斉接種）を令和4年4月18日から開始し、7月22日に愛玩豚を含めた全ての対象豚へ接種が終了したので、お知らせします。

1 背景

県内において野生いのししでの豚熱感染が確認されたことから、令和4年3月23日、国の牛豚等疾病小委員会において、本県及び島根県・山口県が新たにワクチン接種推奨地域に設定された。これを受け、ワクチン接種プログラムを国に提出したところ、4月13日に承認され、4月18日から初回一斉接種を開始し、7月22日に終了した。

2 概要

(1) 対象

	当初計画①	実績②	差(②-①)
養豚農場	28戸, 151,939頭	28戸, 95,193頭※	0戸, ▲56,746頭
愛玩豚等	21戸, 63頭	22戸, 70頭	1戸, 7頭
計	49戸, 152,002頭	50戸, 95,263頭	1戸, ▲56,739頭

※全ての養豚農場は7月12日に接種終了

(2) 当初計画と実績の乖離理由

初回一斉接種終了までの3か月の間に、豚が出荷されたことなどにより減少した。

また、計画作成時には、飼養頭数を基本に最大値で計画していたため。(飼養規模には変更なし。)

なお、愛玩豚等については、新たな飼育を把握したため、接種頭数が微増した。

(3) 今後のスケジュール（ア～ウはすでに開始済または対応中）

ア 補強接種及び追加接種

知事認定獣医師を中心に、親豚及び出生した子豚等に対して定期的にワクチンを接種

イ 免疫付与状況調査

豚熱ワクチン接種による飼養豚等への免疫付与状況を確認するための抗体検査を実施

ウ 野生いのししの豚熱感染状況調査

引き続き県内で捕獲された野生いのししや死亡いのししの豚熱感染状況を確認

3 広島県危機対策本部（豚熱対策）及び支部の廃止について

令和4年3月22日に設置した危機対策本部及び支部については、豚熱ワクチンの初回一斉接種の終了に伴い、7月22日に廃止しました。

4 その他

- (1) 報道機関の皆様におかれましては、養豚場での取材は、本病のまん延を引き起こす恐れがあることから、厳に慎むよう御協力をお願いします。
- (2) 豚熱は、豚及びいのししの病気であり、人に感染することはありません。また、仮にかかった豚等の肉を食べても人体には影響ありません。
- (3) 本県を含む本州の広い範囲で、野生いのししで豚熱の感染が確認されています。
感染した野生いのししの糞等により、登山道等が豚熱ウイルスに汚染され、靴底に付着した泥等を介して拡散する恐れがあるため、県民のみなさまには、下山時に靴底の土を落とし洗浄する等、豚熱のまん延防止に、御協力いただきますようお願いいたします。